

縄文の彼方 時の輝き

加藤 幸久（茅野市）

1 広い宇宙の果て君は生きている
やっ
ハの峰々、純白の光が射し込んだ

碧！眩しい高原に

ゆらりゆらり雫が光る

奏でるメロディー、

踊りつきない

縄文の香りが漂う

茅野の光が神々しい

縄文の爽やか

かがやく天地

呪文を唱えて

縄文ヴィーナスが微笑んだ

伝えたもう、水と火と太陽の光

ハヶ岳の麓、精霊は集い広がった

炎立ち昇り、眩しくて

精霊宿り、草木に命を吹き込んだ

大地は5千年を誘った
いさな

時空の扉を開こう

夜空にきらめく、ハヶ岳

守りたもう。この詩を！

茅野の国宝、知れ渡る

仮面の女神が今甦った

心静か、じっと目を閉じて

思い浮かべよう

未来の果てまで繋がろう

生きる喜び支え合う

広い宇宙の果て君は生き続ける

2 広い草原に君は生きている

やつ

八の岩土に黒の光が輝いた

雷鳴から踊りやって来た

縄文の鼓動が響く！

魂の光が散りばめられた！

ほとばしる詩が眩しくて

時めき、酔いしれた

見果てぬ夢を追いかけて、

夢が叶った

とこしえ

永久に刻まれた仮面の紋様

謎めいた光を浴びた

神秘の女神

祈りを込めて

茅野の象徴、仮面の女神が微笑んだ

奏でる鼓動、土偶の文様、

ドキドキ、ワクワク国宝指定

縄文苔が輝いて、^{しずく}滴に映った女神を導いた
夢現れし、仮面の眼差し導いた
脈々と受け継がれる風が吹く
分かち合おう。この詩を！
緑の大地、踊り歌おう！祝いの宴
茅野の恵みに仮面が笑った

安らぎ、じっと目を凝らし^こ
思い浮かべよう
未来の果てまで繋がろう
生きる喜び支え合う
広い宇宙の果て君は生き続ける